

ガーナ

2023年3月15日

海外調査部・アクラ事務所

2021年のガーナ経済は、サービスおよび製造業が成長を牽引し、実質GDP成長率は5.4%だった。貿易は、輸出入ともに堅調な伸びを示したが、輸入が輸出の伸び幅を上回り、貿易黒字が減少した。日本向けは、アルミニウムやカカオおよびその調製品の輸出が増加した。対ガーナ投資は、新型コロナウイルス感染症拡大による先行きの不透明さから金額および件数が減少した。

■新型コロナウイルスからの回復をみせ、2021年の成長率は5.4%のプラス成長

ガーナ中央銀行によれば、2021年の実質GDP成長率は、前年の0.4%から大きく回復して、コロナ禍前の水準に近い5.4%となった。非石油部門の実質GDP成長率は6.9%となり、2013年の算出方法の変更以来、最高を記録した。分野別の成長率は、農業が8.4%、サービス業が9.4%、工業がマイナス0.8%となった。サービス業では情報通信（33.1%）などが成長を牽引し、過去最大の伸び率を記録した。

■貿易黒字は減少傾向

2021年の貿易（通関ベース）は、輸出が前年比1.8%増の147億3,620万ドル、輸入は9.6%増の136億2,865万ドルとなり、ともに過去最高を更新した。貿易収支は11億755万ドルの黒字だが、輸入が輸出の伸びを上回り、黒字幅は年々減少する傾向にある。

輸出を商品別にみると、最大シェアの金が前年比25.2%減の50億8,314万ドルだった。一方、シェア2位の原油の輸出が35.6%と増加し、39億4,772万ドルを記録した。その他、カカオ豆および関連製品が22.4%の伸びとなり、輸出全体の増加に貢献した。国別では、スイス（構成比15.8%、前年も1位）、続いて南アフリカ共和国、米国の順となった。輸入では、燃料の輸入が大幅に増加し、27億1,916万ドル（前年比30.5%増）を記録した。国別では、中国（構成比23%、前年も1位）、米国、インドの順となった。

ガーナの対日貿易（通関ベース）では、輸入が11億8,800万ガーナセディ（前年比28.1%増）、輸出が8億8,324万ガーナセディ（79.1%増）だった。対日輸入では、中古乗用車やダンプカーなどの車両が輸入額全体の64.5%、機械類が15.1%を占めた。また、光学機器や検査機器、医療用機器は前年比7.4倍、プラスチック製品は4.2倍と大幅な伸びを記録した。車両では、中古自動車（4WD、排気量1000cc超え、1500cc未満、5年以内）が前年比で4割増加した一方、中古ダンプカーは7割の大幅な減少をみせた。

対日輸出では、前年度は輸出全体のおよそ97%を占めていたココアおよびその調製品は前年比6割

増を記録するも、輸出全体に占める割合は87%に低下した。一方で、アルミニウムおよびその製品の割合が増加し、前年比で16倍となり、構成比は10%を占めた。また、銅や金などは、2020年には日本向け輸出がなく、2021年に輸出が再開したかたちだ。

表1 ガーナの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：ガーナセディ、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2020年		2021年			2020年		2021年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
ココアおよびその調製品	480,058,596	766,034,516	86.73	59.6	鉄道用および軌道用以外の車両並びにその部分品および付属品	684,004,473	766,852,102	64.5	12.1
アルミニウムおよびその製品	5,280,216	84,178,012	9.53	1,494.2	原子炉、ボイラーおよび機械類並びにこれらの部分品	80,607,777	179,472,437	15.1	122.6
鉄鋼	0	17,209,508	1.95	-	ゴムおよびその製品	60,229,169	64,594,121	5.4	7.2
銅およびその製品	0	14,067,272	1.59	-	魚並びに甲殻類、軟体動物およびその他の水棲無脊椎動物	32,349,643	51,834,178	4.4	60.2
採油用の種および果実、各種の種および果実、工業用又は医薬用の植物並びにわらおよび飼料用植物	3,118,376	339,942	0.04	△ 89.1	調製羽毛、羽毛製品、造花および人髪製品	24,242,148	32,397,248	2.7	33.6
原子炉、ボイラーおよび機械類並びにこれらの部分品	129,685	285,403	0.03	120.1	無機化学品および貴金属、希土類金属、放射性元素又は同位元素の無機又は有機の化合物	11,995,029	22,863,286	1.9	90.6
魚並びに甲殻類、軟体動物およびその他の水棲無脊椎動物	3,980,193	223,411	0.03	△ 94.4	光学機器、写真用機器、映画用機器、測定機器、検査機器、精密機器及び医療用機器並びにこれらの部分品及び付属品	2,367,581	17,530,289	1.5	640.4
綿および綿織物	69,409	155,706	0.02	124.3	プラスチックおよびその製品	2,807,257	11,881,147	1.0	323.2
金	0	153,808	0.02	-	鉱石、スラグおよび灰	8,959,311	10,758,520	0.9	20.1
木材およびその製品並びに木炭	0	124,331	0.01	-	電気機器およびその部分品並びに録音機、音声再生機並びにテレビジョンの映像および音声の記録用又は再生用の機器並びにこれらの部分品および付属品	7,223,862	8,926,533	0.8	23.6
合計 (その他含む)	493,102,621	883,243,072		79.1	合計 (その他含む)	927,109,535	1,188,001,730		28.1

(出所) ガーナ貿易産業省

■ガーナへの海外直接投資、2021年は金額・件数ともに減少

ガーナ投資促進センター (GIPC) によれば、2021年の外国投資件数は271件、投下資本は12億9,866万ドルだった。前年と比べ、金額は51%減、件数は2.9%減少した。新型コロナウイルス拡大の先行きの不透明さが影響したとみられている。

2021年の主な投資国は、中国、インド、シンガポール、オランダ、オーストラリアだった。投資件数では中国が40件と最も多かった。一方、金額ではシンガポールの3億7,000万ドルが最大だった。分野別では、件数および金額いずれもサービス業が最大で、件数では139件、金額では6億8,991万ドルだった。その他、件数ベースでは、製造業、一般貿易、石油・ガスがそれぞれ50件、36件、19件と続いた。地域別では、首都アクラを含むグレーターアクラ州に投資の大部分が集中している。271件のうち、グレーターアクラ州は214件、ウェスタン州が29件、アシャンティ州が13件、イースタン州が6件などとなった。

主要経済指標

	2019年	2020年	2021年
①人口：3,083万人(2021年)			
②面積：23万8,537km ²			
③1人当たりGDP：2,441米ドル (2021年)			
④実質GDP成長率 (%)	6.5	0.4	5.4
⑤消費者物価上昇率 (%)	7.14	9.89	9.97
⑥失業率 (%)	4.3	4.7	4.7
⑦貿易収支 (100万米ドル)	2,257	2,043	1,108
⑧経常収支 (100万米ドル)	△ 1,864	△ 2,134	△ 2,497
⑨外貨準備高 (グロス) (100万米ドル)	7,135	7,353	9,303
⑩対外債務残高 (グロス) (100万米ドル)	36,092	36,025	36,367
⑪為替レート (1米ドルにつき、 ガーナセディ、期中平均)	5.22	5.60	5.81

〔出所〕 ①：Ghana 2021 Population and Housing Census (2022年公開)、②：外務省、③④⑤⑨⑩⑪：IMF、⑥：世界銀行、⑦⑧：ガーナ中央銀行 2022年報

(お問い合わせ先)

海外調査部 中東アフリカ課

ORH@jetro.go.jp